

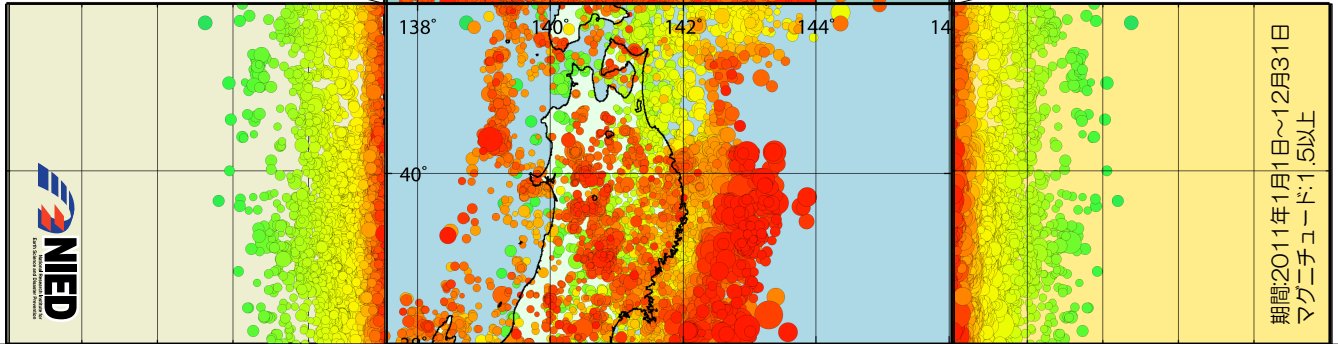
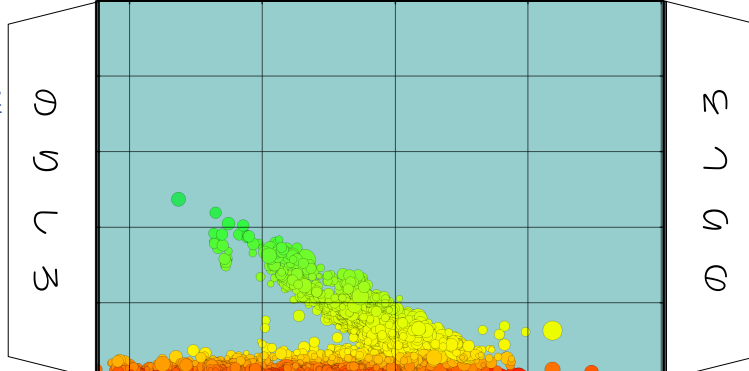
しんげん 震源くん

2012年度版

日本の地震活動立体模型 (2/6) [東北]

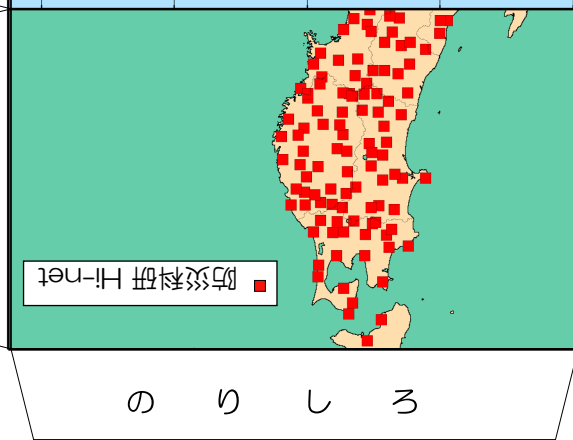
日本は、地球上でもっとも地震活動の盛んな地域の一つです。これらの地震を正確にとらえるために、防災科学技術研究所では全国の約800カ所に高感度地震計を配置し、毎日地面の動きを測り、地震の活動を調べています。

2011年は東北地方太平洋沖地震の余震がたくさん発生したため、とても小さなものも含めると約25万個（地震前の2.5倍）もの地震が発生しました。
データ表示期間：
2011年1月1日
～12月31日
マグニチュード
(地震の大きさ)：1.5以上



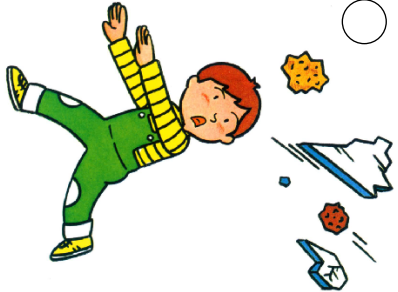
期間2011年1月1日～12月31日
マグニチュード1.5以上

深さ 0 15 35 70 200 400 500 km



高感度地震観測網 (Hi-net) でとらえられた地震

著作権：独立行政法人 防災科学技術研究所



あわてて戸外へとび出すな

あわてて戸外にとび出すと、瓦、タイル・窓ガラスの破片等頭上への落下物が多いので、大変危険です。どうしても戸外に出る場合は、フトン等で頭を守りましょう。また、ハンダシでとび出すことはきわめて危険です。

狭い路地、塀のわき、崖ふちをさけよう

狭い路地では、落ちてくる屋根瓦で大ケガをした例が大変多く危険です。広い道・空地・広い庭等に避難しましょう。

